【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【公開番号】特開2016-105051(P2016-105051A)
【公開日】平成28年6月9日(2016.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2016-035
【出願番号】特願2014-242926(P2014-242926)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｃ　21/34　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｃ　21/34

【手続補正書】
【提出日】平成29年4月27日(2017.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
出発地情報と、目的地情報と、入口位置情報及び複数の出口位置情報を含む駐車場情報と、を取得する取得手段と、
前記出口位置情報によりそれぞれの位置が示されている複数の出口の中から、前記出発地情報、前記目的地情報、前記入口位置情報及び前記出口位置情報に基づいて一の前記出口を決定し、当該決定された一の前記出口を含む、前記出発地から前記目的地に至る経路を決定する決定手段と、
前記決定された一の前記出口を報知する報知手段と、
を備えることを特徴とする報知装置。
【請求項２】
請求項１に記載の報知装置において、
前記決定手段は、
前記駐車場情報に対応する駐車場までの前記出発地からの経路である出発地－駐車場経路を決定するための出発地－駐車場指標を取得する第１取得手段と、
前記目的地情報により示される目的地までの前記複数の出口のいずれかからの経路である駐車場－目的地経路を決定するための駐車場－目的地指標を取得する第２取得手段と、
を備え、
各前記取得された出発地－駐車場指標、駐車場情報及び駐車場－目的地指標に基づいて、前記出発地から前記目的地までの経路を構成する前記出発地－駐車場経路、前記一の出口及び前記駐車場－目的地経路を決定することを特徴とする報知装置。
【請求項３】
請求項２に記載の報知装置において、
前記駐車場が複数の入口を有し、
前記取得手段は、いずれかの前記入口といずれかの前記出口との間の距離に対応した距離情報を含む前記駐車場情報を更に取得し、
前記決定手段は、各前記取得された出発地－駐車場指標、駐車場情報及び駐車場－目的地指標に基づいて、複数の前記入口のうちの一つと、前記複数の出口のうちの一つと、を決定することを特徴とする報知装置。
【請求項４】

請求項２又は請求項３に記載の報知装置において、
前記駐車場が、利用の対象である施設に付随する駐車場であり、
当該駐車場が複数の前記入口を有し、
前記取得手段は、いずれかの前記入口と前記施設との間の距離、又は前記施設といずれかの前記出口との間の距離、の少なくともいずれか一方に対応した施設距離情報を含む前記駐車場情報を取得し、
前記決定手段は、各前記取得された出発地－駐車場指標、駐車場情報及び駐車場－目的地指標に基づいて、複数の前記入口のうちの一つと、前記複数の出口のうちの一つと、を決定することを特徴とする報知装置。
【請求項５】
請求項２から請求項４のいずれか一項に記載の報知装置において、
各前記取得される出発地－駐車場指標、駐車場情報又は駐車場－目的地指標の少なくともいずれかが、前記駐車場の混雑状況を示す混雑情報に基づいて、混雑している前記駐車場ほど前記出発地から前記目的地までの前記経路の一部として決定され難い値を有することを特徴とする報知装置。
【請求項６】
請求項１から請求項５のいずれか一項に記載の報知装置において、
前記駐車場情報に対応する駐車場が複数の階を有する立体駐車場である場合において、前記駐車場情報は、当該駐車場情報に対応する前記駐車場の階数が増えるほど当該階が前記出発地から前記目的地までの前記経路の一部として決定され難くなるように重み付けされていることを特徴とする報知装置。
【請求項７】
請求項１から請求項６のいずれか一項に記載の報知装置において、
前記取得される駐車場情報が、当該駐車場情報に対応する駐車場内の駐車位置それぞれに関連する駐車位置関連情報に基づいて、当該駐車場内における前記車両の移動距離が短い前記駐車位置ほど前記出発地から前記目的地までの前記経路の一部として決定され易い値を有することを特徴とする報知装置。
【請求項８】
請求項７に記載の報知装置において、
前記駐車場が、利用の対象である施設に付随する駐車場であり、
前記取得される駐車場情報が、前記駐車位置関連情報に基づき、前記移動距離及び前記駐車位置から前記施設までの距離が短い前記駐車位置ほど前記出発地から前記目的地までの前記経路の一部として決定され易い値を有することを特徴とする報知装置。
【請求項９】
請求項１から請求項８のいずれか一項に記載の報知装置において、
前記駐車場情報を記憶する記憶手段を更に備え、
前記取得手段は、前記記憶されている駐車場情報を取得することを特徴とする報知装置。
【請求項１０】
取得手段と、決定手段と、報知手段と、を備える報知装置において実行される報知方法において、
出発地情報と、目的地情報と、入口位置情報及び複数の出口位置情報を含む駐車場情報と、を前記取得手段により取得する取得工程と、
前記出口位置情報によりそれぞれの位置が示されている複数の出口の中から、前記出発地情報、前記目的地情報、前記入口位置情報及び前記出口位置情報に基づいて一の前記出口を決定し、当該決定された一の前記出口を含む、前記出発地から前記目的地に至る経路を前記決定手段により決定する決定工程と、
前記決定された一の前記出口を前記報知手段により報知する報知工程と、
を含むことを特徴とする報知方法。
【請求項１１】

コンピュータを、請求項１から請求項９のいずれか一項に記載の報知装置の各手段として機能させることを特徴とする報知用プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記の課題を解決するために、請求項１に記載の発明は、出発地情報と、目的地情報と、入口位置情報及び複数の出口位置情報を含む駐車場情報と、を取得する取得手段と、前記出口位置情報によりそれぞれの位置が示されている複数の出口の中から、前記出発地情報、前記目的地情報、前記入口位置情報及び前記出口位置情報に基づいて一の前記出口を決定し、当該決定された一の前記出口を含む、前記出発地から前記目的地に至る経路を決定する決定手段と、前記決定された一の前記出口を報知する報知手段と、を備える。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記の課題を解決するために、請求項１０に記載の発明は、取得手段と、決定手段と、報知手段と、を備える報知装置において実行される報知方法において、出発地情報と、目的地情報と、入口位置情報及び複数の出口位置情報を含む駐車場情報と、を前記取得手段により取得する取得工程と、前記出口位置情報によりそれぞれの位置が示されている複数の出口の中から、前記出発地情報、前記目的地情報、前記入口位置情報及び前記出口位置情報に基づいて一の前記出口を決定し、当該決定された一の前記出口を含む、前記出発地から前記目的地に至る経路を前記決定手段により決定する決定工程と、前記決定された一の前記出口を前記報知手段により報知する報知工程と、を含む。